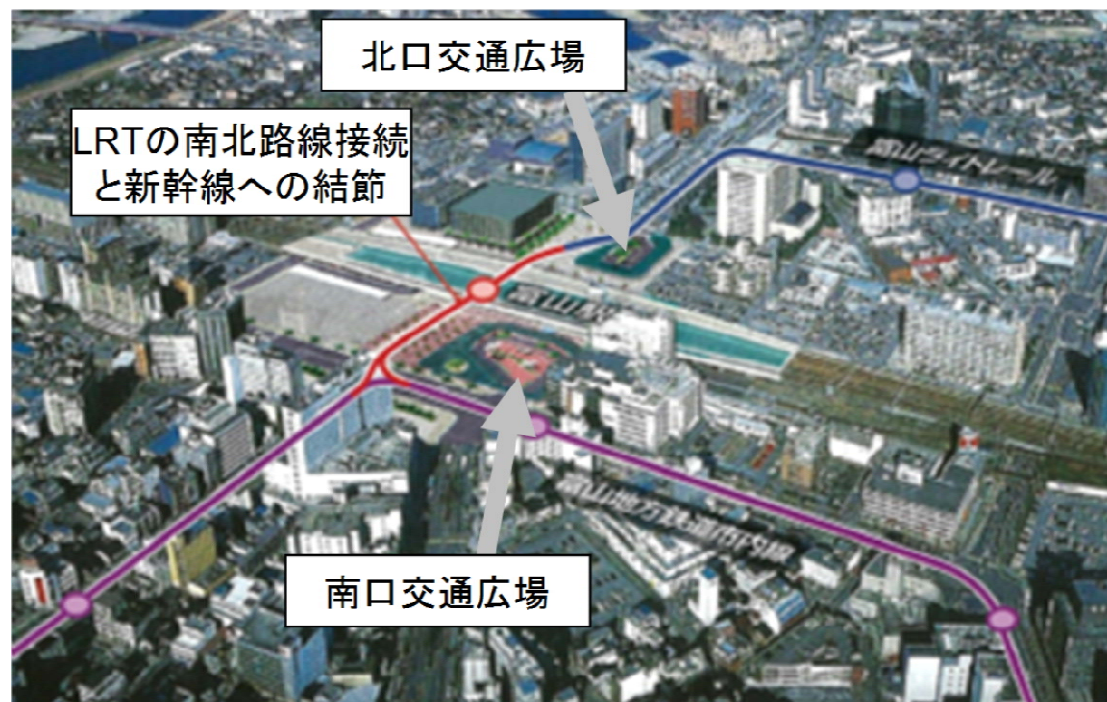


駅アクセス圏の拡大方策－乗り換え利便性向上－

＜乗り換え短絡化の事例＞

【富山駅(北陸新幹線、在来線 → 富山ライトレールへの乗り換え)】



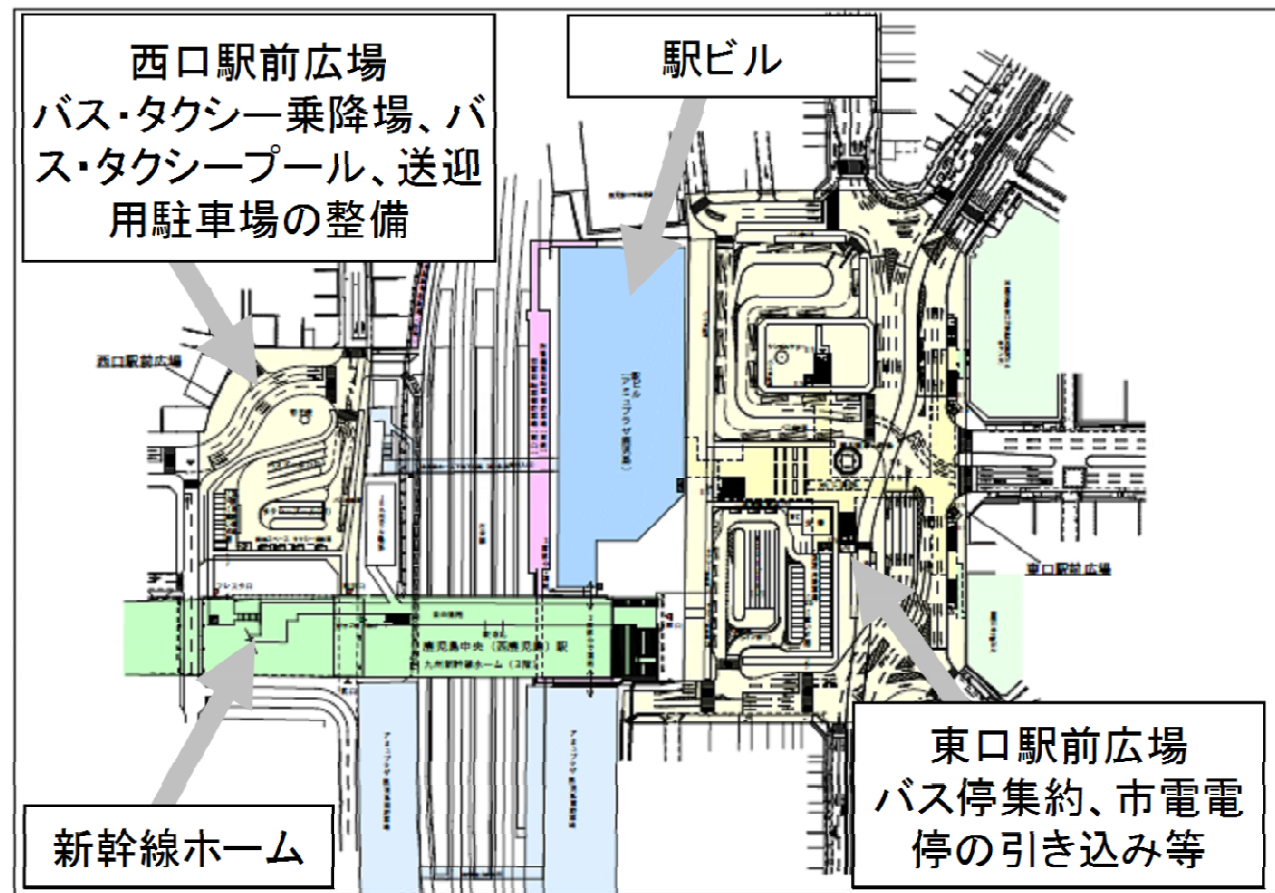
出典:「富山ライトレールの誕生」に加筆

- ・平成26年度末の北陸新幹線開業および在来線立体交差化に合わせ、鉄道高架下で北側の富山ライトレールと南側の富山地方鉄道市内線を接続する計画。新幹線、在来線の改札を出ると、そのままLRTへの乗り換えが可能となるようにする。

駅アクセス圏の拡大方策－乗り換え利便性向上－

＜乗り換え短絡化の事例＞

【JR九州 鹿児島中央駅(鹿児島)】



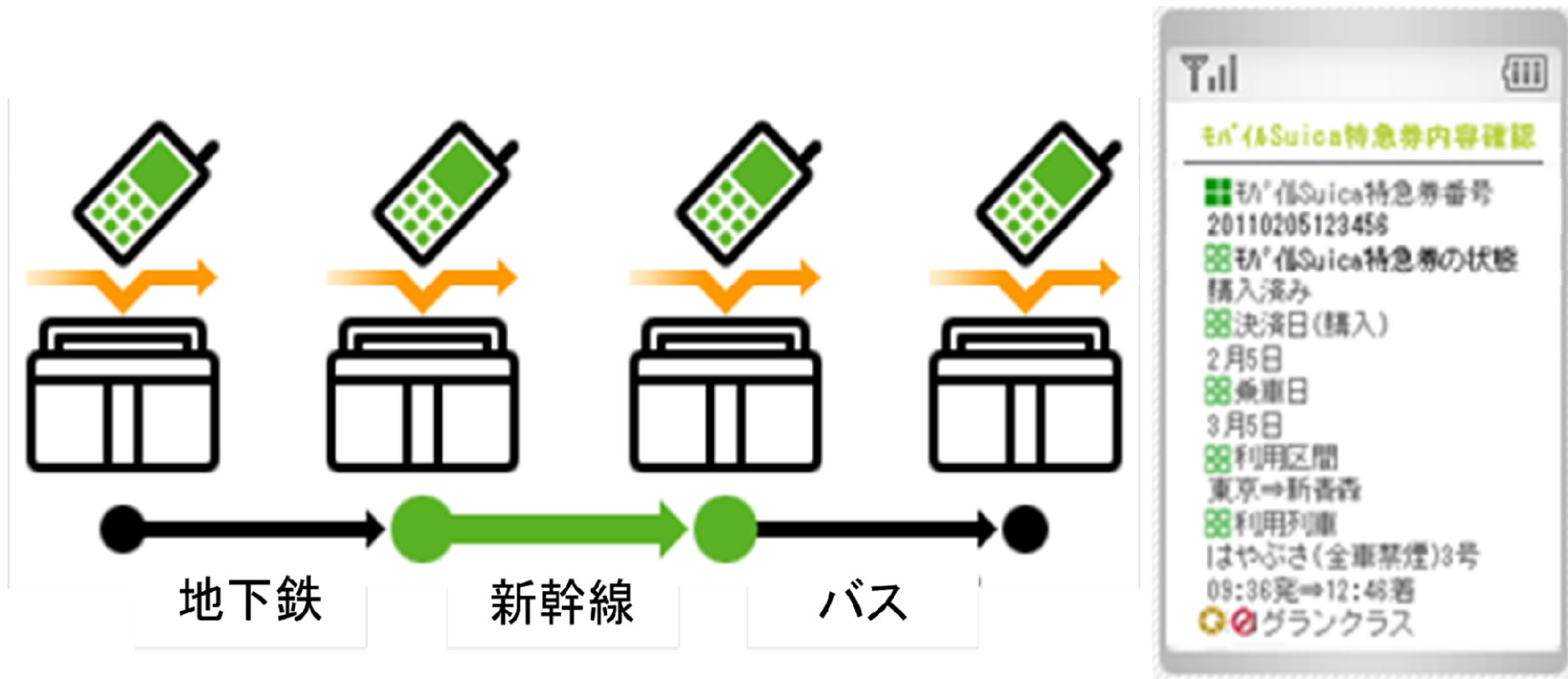
出典: 鹿児島市HPに加筆

- 九州新幹線の開業を契機に、鹿児島中央駅(旧西鹿児島駅)では、東口に分散したバス停の集約、市電電停の駅前広場内への引き込みによる乗り換え利便性強化を図ったほか、西口に広域交通網の核となるようにバスプールや駐車場を整備した。

駅アクセス圏の拡大方策—乗り換え利便性向上—

< ICTの活用による乗り換え円滑化 >

【モバイルSuica】(携帯端末を活用したICカードチケットの新幹線・アクセス交通における共通運用)

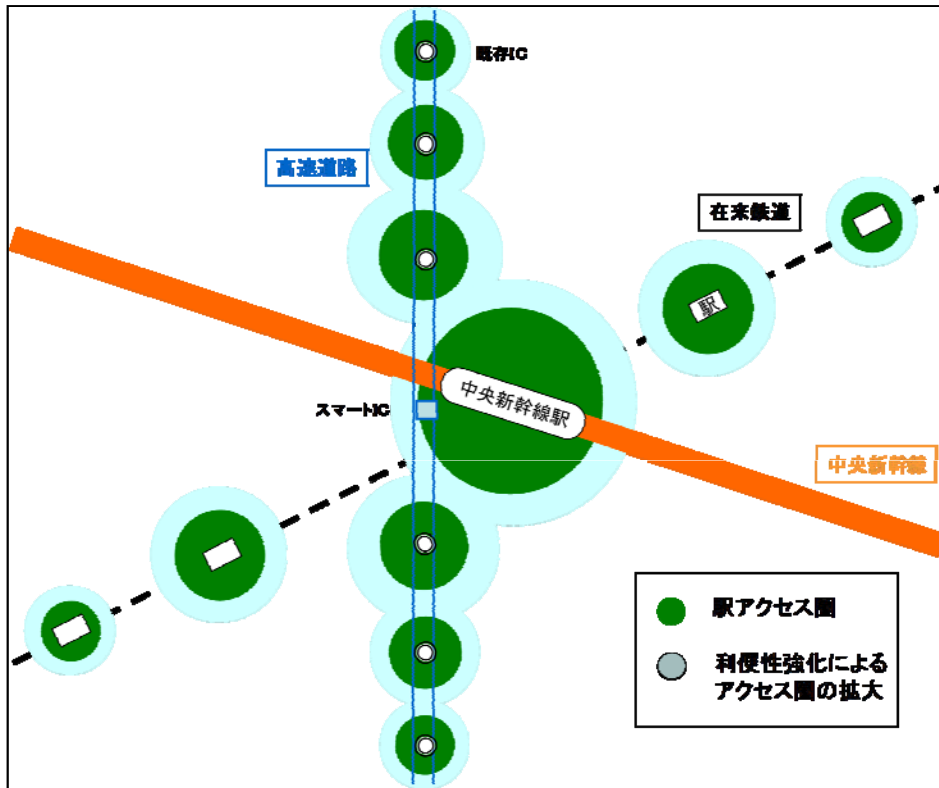


(出典): JR東日本HPに加筆

- ・JR東日本のモバイルSuicaでは、1台の携帯端末で、新幹線の予約とチケットング、および乗り継ぎ時の在来線でのSuica利用ができるようになっている。

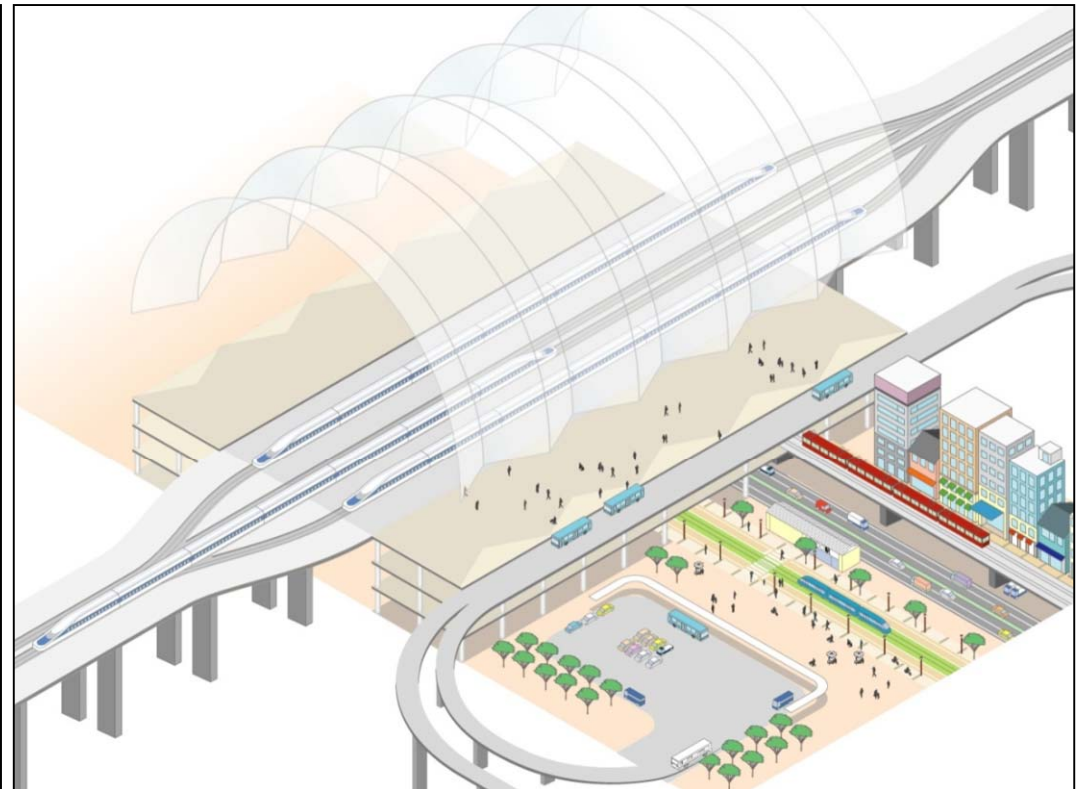
中央新幹線の駅アクセス圏拡大のイメージ

【駅アクセス圏拡大イメージ】



- 高速道路や在来線など既存交通機関との連携、乗り換え利便性を高める取り組みにより、中央新幹線駅のアクセス圏域を格段に拡大。

【駅アクセス圏拡大のための駅及び駅周辺のイメージ】



- バスやタクシー、送迎用の自動車には、上下移動なく同一ホームで乗り換え可能。
- ロングランプなどにより、高速道路と直結。
- 高速バス路線やLRTが新設され、都市間、地域内の移動が容易に。
- 駐車場は駅の直下や周辺に整備され、パーク&ライドを容易に。

魅力のある駅空間の創造－複合的施設・機能の整備による利便性向上－

- ・駅には、公共施設、商業施設、コンベンション施設、公園などが併設され、中央新幹線利用者だけでなく、地域交流の核として、地域住民に親しまれるものとなることが期待される。
- ・駅に併設された医療施設や大学のサテライトキャンパスには、大都市に勤める医師や教授が駅に來訪して、高度医療や大学での講義を実施できるようにすることも考えられる。

【JR九州 博多駅(JR博多シティ)】



(出典)JR九州HP

- 2011年3月の九州新幹線の全線開通とあわせて新駅ビル「JR博多シティ」を整備。(2011年3月3日開業予定)
- 百貨店、230の専門店、レストラン、屋上庭園、イベントホール、映画館、会議室などを備えた複合施設。九州大学サテライトキャンパスも実施。

魅力のある駅空間の創造－複合的施設・機能の整備による利便性向上－

【JR九州福工大前駅(福岡市)】



➤「福岡市和白地域交流センター・和白図書館」を駅ビル内に併設。
 (地域住民の交流の場の提供や地域福祉の向上などを目的に、体育館やトレーニングルーム、多目的ホール、会議室などのコミュニティ機能と和白図書館を併設する複合施設。)(出典:福岡市)



【神戸電鉄】

➤小野駅、緑が丘駅などで保育園やケアセンターを設置・運営。



(神鉄ケアサービスセンター三田)

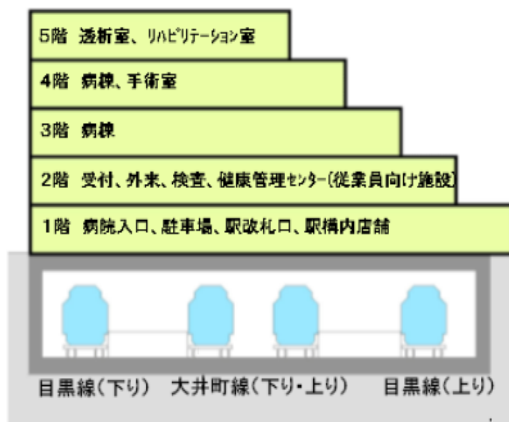


(緑が丘保育園) (出典:神鉄HP)

【東急電鉄大岡山駅】



➤大岡山駅を地下化してその上に病院を移設。



魅力のある駅空間の創造－複合的施設・機能の整備による利便性向上－

【サンフランシスコ・トランスベイ・トランジットセンター(2018年完成予定)】



(出典) Transbay Joint Powers Authority資料に加筆

- ・サンフランシスコの中心部に建設(再開発)中の大規模な公共交通ターミナル。高速鉄道、地域鉄道、通勤バス、長距離バスの結節点となるだけでなく、歩行空間や小売店も充実させ、市民の憩いの場として屋上公園も設置される。屋上の公園では、樹木、造園、水管理システムを通して汚染物質を吸収、ろ過する。また地下には巨大な熱交換システムが建設される。さらに自然換気、自然光の採用、雨水や汚水の再利用も実施。

魅力のある駅空間の創造－安心・便利・快適なサービスの提供－

【ユニバーサルデザインへの取り組み】



(東京メトロ副都心線 渋谷駅)

【ICT活用による運行情報等の提供】



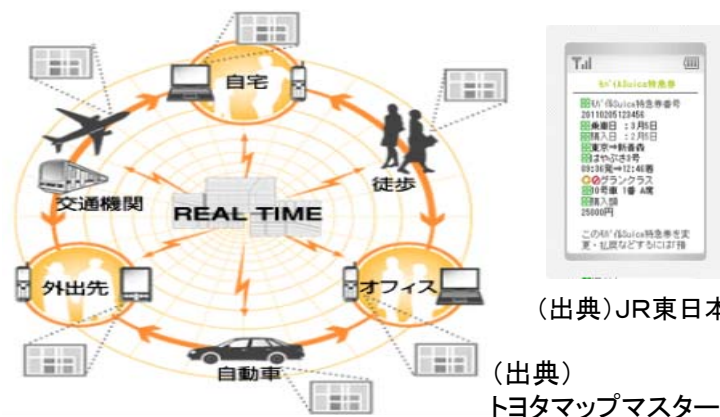
(中部国際空港からの交通案内)
空港からの交通機関の運行情報を提供。

【地域の観光情報や休憩スペースの提供】



(JR北海道札幌駅「食と観光」情報館。)
観光情報や軽食コーナーが提供されている。外国語での案内スタッフも配置。

【ユビキタス・ネットワーク社会への対応】



【より安心・便利・快適な駅への技術開発】



(JR東日本 スマートステーション実験棟)

- JR東日本が、より環境にやさしい駅、利便・快適な駅、安全・安心な「賢い駅」を目指す研究開発施設として、実験棟を建設。2010年竣工。
- (研究開発内容)

 - ・自然風等を活用した温熱環境改善
 - ・自然光・太陽光の有効活用
 - ・個人のニーズに応じた駅構内ナビゲーション
 - ・タッチレス方式の改札システム
 - ・センサー技術による駅空間の最適制御
 - ・より安全を考慮した駅仕様のエスカレーター
 - ・ロボットの活用による移動支援 など

(出典:JR東日本HP)

➢ いつでもどこでも誰でも情報を得られる社会。あらゆる場所で携帯情報端末が利用でき、それらがブロードバンドでネットワークされていることが必要。

魅力のある駅空間の創造—個性豊かなデザインによる魅力の創出—

【JR大阪駅 大阪ステーションシティ】



(出典)大阪駅開発プロジェクトHP

- 大阪駅北地区再開発に先駆けて、大阪駅を改築。
- 北側のビルを新築すると同時に、南側ビルを増築。
- ホームを覆う大規模ドームを設置し、開放的な空間を演出。南北連絡通路や橋上駅舎を設置し、人々の往来の利便性を向上。2011年5月開業予定。

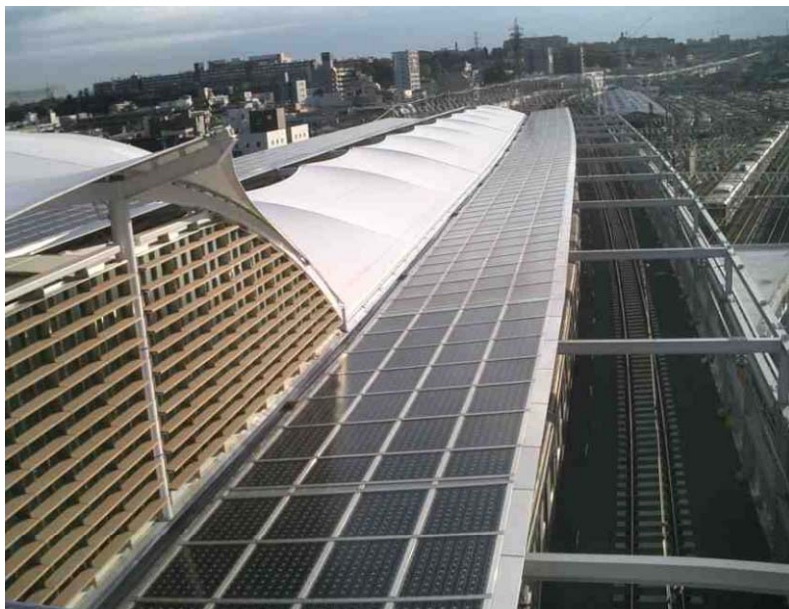
【JR金沢駅 東口(もてなしドームと鼓門)】



- 2014年の北陸新幹線金沢開業を見据えて整備。
- 金沢を訪れる人に差し出す雨傘をイメージし、おもてなしの心を表わしたガラスのドーム。
- 駅前のバス乗り場には太陽発電パネル付きの屋根が設置されており、傘を使用せずに乗り継ぎが可能。
- 正面は、伝統芸能に使われる鼓をイメージした「鼓門」。

魅力のある駅空間の創造—地球環境保全への配慮—

【東急電鉄 元住吉駅】



- 駅のコンコースやホームの屋根に太陽光パネルを設置。(国内の鉄道では最大級の太陽光パネル。)平成18年9月から実施。(出典)神奈川県資料



(出典)JR九州プレスリリース

【JR東日本「エコステ」モデル駅】



(出典)JR東日本プレスリリース資料

- 省エネ、自然エネルギー活用、屋上緑化など、様々な環境保全技術を導入する取組みのモデル駅第一弾として、中央線四ツ谷駅の改良工事が実施されている。2011年度完成予定。

【久留米駅立体駐車場(電気自動車によるパーク&ライド)】

- 九州新幹線全線開業に備えて開業した久留米駅立体駐車場に、平成23年2月から電気自動車用の充電スタンドを設置。使用料金は無料。このほか、熊本駅西口立体駐車場においても設置。

このほか、大阪駅においても、エコカー専用のタクシー乗り場を設置し、平成23年5月(新駅開業時)から運用を開始する予定。

魅力のある駅空間の創造—地域との協力・調和—

【JR北海道 岩見沢駅】



出典 JR北海道プレス資料



- 2000年に駅舎が全焼した後、駅舎再建を中心とするまちづくりを実施。デザインを一般公募。
- 市民が協力する形で刻印レンガプロジェクトを実施。レンガを寄付した者の名前をレンガに刻印。
- 鉄道にゆかりの深い地域特性を表現するため、ガラス窓のサッシに鉄道の古レールを利用。
- 平成21年 グッドデザイン大賞を受賞。(公共交通機関の施設としては初の大賞受賞)その他にも多くの賞を受賞。